【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第２部門第３区分
【発行日】平成18年8月17日(2006.8.17)

【公開番号】特開2004-195636(P2004-195636A)
【公開日】平成16年7月15日(2004.7.15)
【年通号数】公開・登録公報2004-027
【出願番号】特願2003-270836(P2003-270836)
【国際特許分類】
Ｂ２５Ｊ　13/00　　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｂ２５Ｊ　13/00　　Ｚ

【手続補正書】
【提出日】平成18年7月3日(2006.7.3)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
対象物に付随する各種情報を、当該対象物の対応する項目の値として記憶する記憶手段と、
上記対象物の上記項目を話題と定義したときに、直前の会話で使用した上記話題と関連のある上記話題を選択し、当該選択した話題における上記項目の上記値を獲得するための獲得会話又は上記記憶手段が既に記憶している当該話題における上記項目の上記値を利用した利用会話を、次の会話として生成する会話生成手段と
を具え、
上記会話生成手段は、
上記獲得会話により獲得した上記値を、対応する上記項目の上記値として上記記憶手段に記憶させる
ことを特徴とする対話制御装置。
【請求項２】
上記会話生成手段は、
上記直前の会話で使用した上記話題と同じ上記対象物の別の任意の上記項目を次の上記話題として選択し、上記記憶手段が既に記憶している当該項目の上記値を利用して上記利用会話を生成する
ことを特徴とする請求項１に記載の対話制御装置。
【請求項３】
上記会話生成手段は、
上記直前の会話で使用した上記話題と同じ上記対象物の関連のある上記項目を次の上記話題として選択し、上記記憶手段が既に記憶している当該項目の上記値を利用して上記利用会話を生成する
ことを特徴とする請求項１に記載の対話制御装置。
【請求項４】
上記会話生成手段は、
上記直前の会話で使用した上記話題の上記項目の上記値から特定できる上記対象物のいずれかの上記項目を次の上記話題として選択し、上記記憶手段が既に記憶している当該いずれかの項目の上記値を利用して上記利用会話を生成する

ことを特徴とする請求項１に記載の対話制御装置。
【請求項５】
上記会話生成手段は、
上記直前の会話で使用した上記話題と同じ上記対象物の同じ上記項目を次の上記話題として選択し、上記記憶手段が既に記憶している当該項目の上記値を利用して上記利用会話を生成する
ことを特徴とする請求項１に記載の対話制御装置。
【請求項６】
上記会話生成手段は、
上記直前の会話で使用した上記話題における上記項目の上記値と同じ上記値を有する別の上記対象物の同じ上記項目を次の上記話題として選択し、上記記憶手段が既に記憶している当該同じ項目の上記値を利用して上記利用会話を生成する
ことを特徴とする請求項１に記載の対話制御装置。
【請求項７】
上記会話生成手段は、
上記直前の会話で使用した上記話題における上記項目の上記値と関連のある上記値を有する別の上記対象物の上記項目を次の上記話題として選択し、上記記憶手段が既に記憶している当該関連のある値を利用して上記利用会話を生成する
ことを特徴とする請求項１に記載の対話制御装置。
【請求項８】
上記会話生成手段は、
上記直前の会話で使用した上記話題の上記項目をキーワードとして、当該項目に関連のある次の上記話題を選択し、上記記憶手段が既に記憶している当該項目に対応するシナリオを利用して上記利用会話を生成する
ことを特徴とする請求項１に記載の対話制御装置。
【請求項９】
上記会話生成手段による生成された上記利用会話に対応する行動を発現するための行動コマンドを生成する行動生成手段
を具えることを特徴とする請求項８に記載の対話制御装置。
【請求項１０】
上記会話生成手段は、
上記直前の会話で使用した上記話題と同じ上記対象物の別の任意の上記項目を次の上記話題として選択し、当該別の任意の項目の上記値を獲得するための上記獲得会話を生成する
ことを特徴とする請求項１に記載の対話制御装置。
【請求項１１】
上記会話生成手段は、
上記直前の会話で使用した上記話題と同じ上記対象物の関連のある上記項目を次の上記話題として選択し、当該関連のある項目の上記値を獲得するための上記獲得会話を生成する
ことを特徴とする請求項１に記載の対話制御装置。
【請求項１２】
上記会話生成手段は、
上記直前の会話で使用した上記話題における上記項目の上記値から特定できる上記対象物のいずれかの上記項目を次の上記話題として選択し、当該いずれかの項目の上記値を獲得するための上記獲得会話を生成する
ことを特徴とする請求項１に記載の対話制御装置。
【請求項１３】
上記会話生成手段は、
上記選択した上記話題における上記項目の上記値に基づき得られる事項を利用して上記利

用会話を生成する
ことを特徴とする請求項１に記載の対話制御装置。
【請求項１４】
上記会話生成手段は、
上記獲得会話を生成する記憶獲得会話生成手段と、
上記利用会話を生成する記憶利用会話生成手段と、
上記記憶獲得会話生成手段及び上記記憶利用会話生成手段のいずれか一方を選択し、当該選択した上記記憶獲得会話生成手段又は上記記憶利用会話生成手段に上記次の会話を生成させる状況判断手段と
を具えることを特徴とする請求項１に記載の対話制御装置。
【請求項１５】
上記状況判断手段は、
対話相手における全ての上記項目の数の合計値に対する上記値を獲得していない上記項目の数の度合いでなる第１の度合いと、上記対話相手における当該合計値に対する上記値を獲得した上記項目の数の度合いでなる第２の度合いとに基づいて、上記記憶獲得会話生成手段及び上記記憶利用会話生成手段のいずれに上記獲得会話又は上記利用会話を生成させるかを判断する
ことを特徴とする請求項１４に記載の対話制御装置。
【請求項１６】
上記状況判断手段は、
上記第１の度合いが上記第２の度合い以上のときには、上記記憶獲得会話生成手段に上記獲得会話を生成させ、上記第１の度合いが上記第２の度合いよりも小さいときには、上記記憶利用会話生成手段に上記利用会話を生成させる
ことを特徴とする請求項１４に記載の対話制御装置。
【請求項１７】
上記会話生成手段は、
使用した上記話題の履歴を保持し、当該履歴を参照しながら上記獲得会話又は上記利用会話を生成する
ことを特徴とする請求項１に記載の対話制御装置。
【請求項１８】
上記会話生成手段は、
上記履歴を参照しながら、同じ対話相手との１度の対話において、同じ上記話題を使用しないように、上記獲得会話又は上記利用会話を生成する
ことを特徴とする請求項１７に記載の対話制御装置。
【請求項１９】
上記記憶手段は、
上記対象物の上記項目の上記値を、当該値を上記会話に利用しても良いか否かの尺度となる印象度と共に記憶し、
上記会話生成手段は、
当該印象度に基づいて上記次の会話に使用する上記話題を選択する
ことを特徴とする請求項１に記載の対話制御装置。
【請求項２０】
内部状態を表すパラメータを保持し、当該パラメータ値を外部刺激に応じて変化させる内部状態管理手段
を具え、
上記印象度は、
対応する上記値を獲得した前後における上記内部状態管理手段により保持された所定の上記パラメータの上記パラメータ値の差分でなる
ことを特徴とする請求項１９に記載の対話制御装置。
【請求項２１】

対象物に付随する各種情報を、当該対象物の対応する項目の値として記憶する第１のステップと、
上記対象物の上記項目を話題と定義したときに、直前の会話で使用した上記話題と関連のある上記話題を選択し、当該選択した話題における上記項目の上記値を獲得するための獲得会話又は既に記憶している当該話題における上記項目の上記値を利用した利用会話を、次の会話として生成する第２のステップと
を具え、
上記第２のステップでは、
上記獲得会話により獲得した上記値を、対応する上記項目の上記値として記憶する
ことを特徴とする対話制御方法。
【請求項２２】
対象物に付随する各種情報を、当該対象物の対応する項目の値として記憶する記憶手段と、
上記対象物の上記項目を話題と定義したときに、直前の会話で使用した上記話題と関連のある上記話題を選択し、当該選択した話題における上記項目の上記値を獲得するための獲得会話又は上記記憶手段が既に記憶している当該話題における上記項目の上記値を利用した利用会話を、次の会話として生成する会話生成手段と
を具え、
上記会話生成手段は、
上記獲得会話により獲得した上記値を、対応する上記項目の上記値として上記記憶手段に記憶させる
ことを特徴とするロボット装置。